

平成24年度 学校評価報告書

練馬区立石神井台小学校

校長 渡邊 浩一

1 自己評価結果

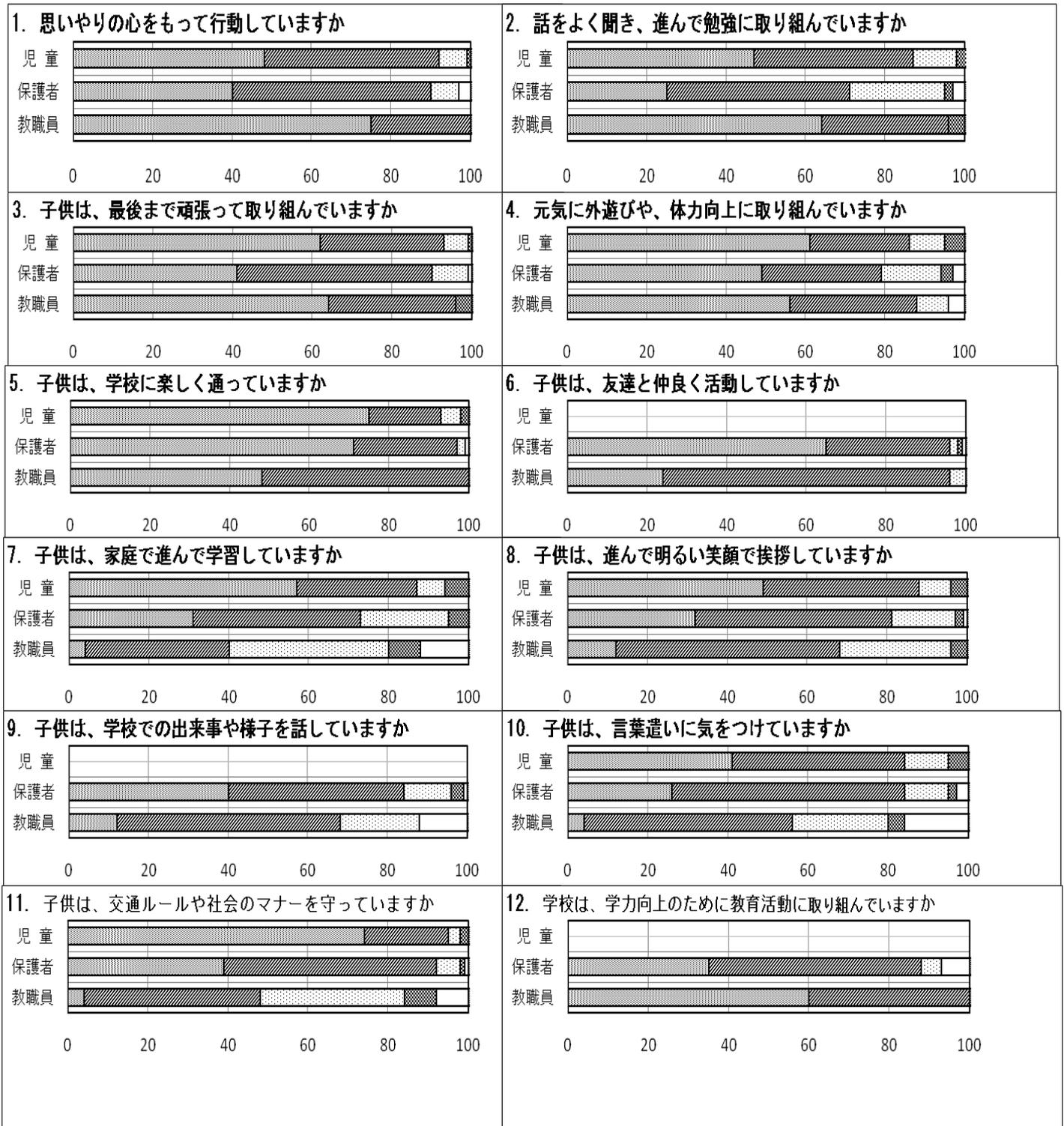
平成24年度：石神井台小学校が教育活動で重点とする25項目について、教職員が自己評価するとともに、児童や保護者・地域の皆様にアンケート調査を実施しました。

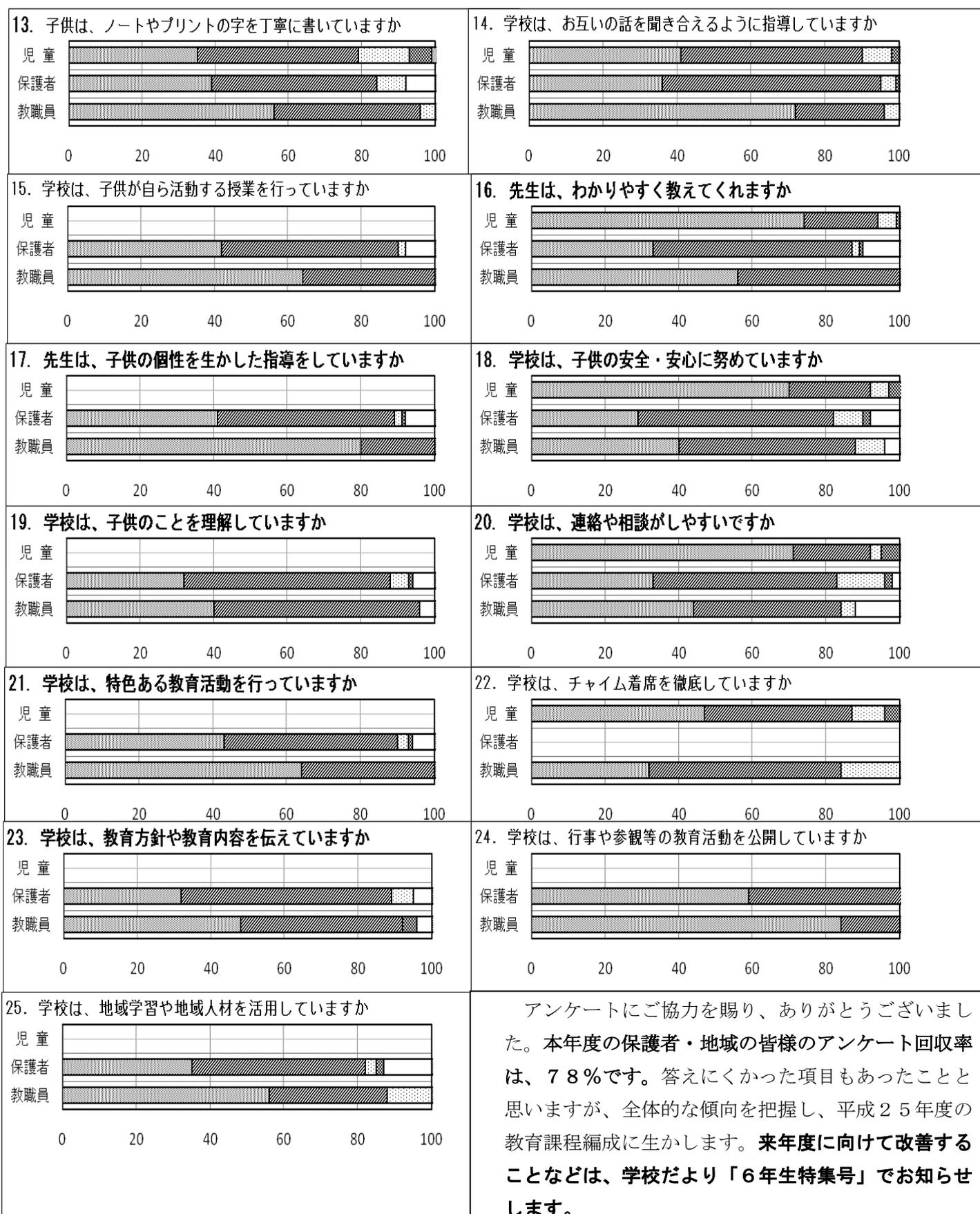
自己評価の結果と今後の改善策をまとめ、学校関係者評価委員会に報告し、ご提言をいただきました。その内容を平成25年度の教育活動に生かしていく。
(保護者・地域：回答率 78%、児童：99%)

児童、保護者・地域、教職員のアンケート結果

※アンケート内容で、該当しない項目は未記入になります。【表の数値は、%で表します】

□とてもそう思う ■そう思う □あまりそう思わない ■まったくそう思わない □わからない





【石台小の教育活動についてのアンケート：25項目の結果より】

《児童、保護者・地域のいずれもが「とてもそう思う」「そう思う」を選んだ割合が80%以上の項目》

◆該当項目 下記の三項目以外の23項目

→ 児童一人一人が、さらに自分で考え、判断し、行動して、学校内外で楽しく学習や生活ができるように指導・支援に努めます。

《児童、保護者・地域のいずれかが、「とてもそう思う」「そう思う」を選んだ割合が80%以下の項目》

◆該当項目 2（保護者：71%）、7（保護者：73%）

→ 児童一人一人が、さらに目標をもち、心をこめて、続けられるように全教育活動の充実に努めます。

特に、2年間にわたり校内研究で取り組んできました「話すこと・聞くこと」の学習態度を定着させ、児童一人一人が諸問題に対して、自分の考えを自分の言葉で相手にわかりやすく伝えられることを目指し、日々の授業改善に努めます。

13（児童：79%）

→ 昨年度より、5ポイント上昇。児童の願いである「丁寧に書く」ことが継続できるように努めます。

《教職員が「とてもそう思う」「そう思う」を選んだ割合が80%以下の項目》

◆該当項目 7、8、9、10、11

→ 未来を担う児童の自立心や自立性をはぐくむためには、基本的な生活習慣、規範意識、人間関係を築く力、社会参画への意欲・態度等の素地を培うことが大切になります。それらを、教育活動全体を通じて児童が集団生活の中で、学習する必要があります。そのため、**教職員と保護者・地域の皆様との数値の違いは、集団生活での児童の様子を捉えているからです。**全教育活動全体を通じて、現在の数値をさらに高められるように、更なる教育活動の充実に努めます。

【自由意見：いただきましたご意見の中から、主なものを要約してお知らせします。】

- ① 学校公開の時など誰でも入れるので、もし変な人が入ってきたら危ないと思いました。
→ 児童の登下校時以外は、正門脇の通用門だけの利用です。学校公開の日は、1年生の教室側の昇降口に受付を設け、学童擁護が担当しています。また、名札を忘れた方には黄色いリボンの着用も徹底します。
- ② 安全安心ボランティアに気軽に参加できるようにしてほしい。
→ 現在の登録者は122名。平成25年度より、年度初めの説明会と年3回の募集のお知らせを行います。学校安全安心ボランティアは、保護者・地域の皆様のお時間に合わせて参加できるように努めます。
- ③ 学校生活の様子や特色ある教育活動の内容を知りたい。
→ 本年度より、ホームページの充実に努めてきましたが、さらに教育活動の様子が伝わるように努めます。
- ④ 不審者情報を下校前に知らせていただける工夫をしていただけるとありがたいです。
→ 先日、お知らせしました「無料：メール配信」をご活用ください。現在の登録率は4割です。
- ⑤ 学校公開や保護者参加型の講習会等が多くなると保護者の負担も多くなります。
→ 学習に基礎・基本がありますように、教育計画にも基礎・基本があります。原則的には、保護者等のご来校は月1回を目安に計画します。尚、学校はいつでも参観できますが、児童の安全な環境を確保するために事前のご連絡をお願いします。
- ⑥ 長期休業中に、子供に目標や課題を自覚させられないので、二学期制から三学期制に戻してほしい。
→ 平成20年度から実施してきました。二学期制の趣旨を徹底できるように、①夏休み前と冬休み前には、「自分の振り返り」を作成し、個人面談の際に担任からお子さんの成果と課題をお伝えしてお渡しします。②夏休みの学力補充教室では、各学年で基礎的・基本的な学習内容の定着に努めます。このことを徹底させます。
- ⑦ 音楽会、学芸会が素晴らしいので、展覧会はなくして、学芸会、音楽会を隔年でしてほしい。
→ 学習指導要領で、平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行うこととされています。そのため、「学芸会、音楽会、展覧会」に取り組んでいます。
- ⑧ 校内にある学童クラブとも連携をとっていただきたいです。
→ 本校の児童の健全育成を願い、学校、学校応援団、学童クラブの指導員とは、必要に応じて話し合いの場をもつように努めています。これからも、児童が健やかに成長するようにさらに連携を深めます。
- ⑨ 教育相談の充実をお願いします。

→ 平成25年度より、心のふれ合い相談員とともに、スクールカウンセラーの配置が決まりました。さらに教育相談の充実に努めます。

⑩ 子供がけがをした時や子供たちの間で問題が起きた時の対応について、教えてください。

→ けがや問題が起きた時の対応は、これからも「今日の出来事は、今日中に対応する」ことを基本的な考え方として、早期発見・早期対応に努めます。そのため、事実関係は該当保護者にも伝え、早めの解決を目指します。

⑪ 授業時数について、他校との差が気になります。

→ 本校では学習指導要領の改訂に伴い、平成22年度より、各学年の余剰時数は50時間程度あります。例えば、どの学年でも2週間分の授業時数の余裕があります。

⑫ アンケートを無記名方式にしてほしい。

→ 本校では、保護者のご意見・ご要望等に応えるために、記名式にしております。

⑬ その他

・子供の日常の姿にしっかり目を留めていただいているので保護者として安心です。

・いろいろと細かいところまで配慮して下さり、校長先生をはじめ、先生方が丁寧に挨拶して下さい、恐縮します。

・学校での話を子供から聞くと、勉強のやり方、友達の思いやり方など、とても安心します。

・熱心なご指導を頂き、子供たちが責任感をもって自分の役割に励んでいると思います。

・今年は運営委員に所属し、学校の様々な活動を見せていただく機会がありました。学校の努力や活動が多く保護者に理解されると、ボランティア活動もしやすくなると思います。

→ このような声が保護者・地域の皆様から多数いただけるように、さらに教育活動の充実に努めます。

⑭ 他にもいただいております。そのご意見は平成25年度の教育活動重点項目として生かしてまいります。

3 評価結果の公表等

◎平成25年3月 1日（金）

学校だより3月号で公表済み

◎平成25年3月29日（金）

本校のホームページで公表予定

4 平成25年度：学校改善に向けた校長の見解について

【指導の重点化が必要な項目】

① 話をよく聞き、進んで学習に取り組める子供を目指します

← 2, 7, 9, 13

② 人権教育および豊かな心を育成する教育を推進します

← 8, 10, 11

③ 一人一人の子供が、安心して楽しい学校生活を過ごせられるように保護者との連携を深めます←8, 10, 11